

安全データシート (SDS)

①【製造者情報】

会社名 三喜工業株式会社
住所 千葉県千葉市中央区今井 1-4-16
担当部門 企画開発部
電話番号 043-262-8100
FAX 番号 043-263-2638
緊急連絡先 043-262-8100

作成日 2003年 4月 04日

改定日 2020年 5月 11日

製品名 : PK-97 フネンシール

②【危険有害性の要約】

GHS 分類

(物理化学的危険性)

火薬類	: 分類対象外
可燃性・引火性ガス	: 分類対象外
可燃性・引火性エアゾール	: 分類対象外
支燃性・酸化性ガス類	: 分類対象外
高压ガス	: 分類対象外
引火性液体	: 分類対象外
可燃性固体	: 分類対象外
自己反応性化学品	: 分類対象外
自然発火性液体	: 分類対象外
自然発火性固体	: 分類対象外
自己発熱性化学品	: 分類対象外
水反応可燃性化学品	: 分類対象外
酸化性液体	: 分類対象外
酸化性固体	: 分類対象外
有機過酸化物	: 分類対象外
金属腐食性物質	: 分類対象外

(健康に対する有害性)

急性毒性(経口)	: 分類できない
急性毒性(経皮)	: 分類できない
急性毒性(吸入・ガス)	: 分類対象外
急性毒性(吸入・蒸気)	: 分類対象外
急性毒性(吸入・粉塵)	: 分類対象外
急性毒性(吸入・ミスト)	: 分類対象外
皮膚腐食性・刺激性	: 分類できない
眼に対する重篤な損傷・ 眼刺激性	: 分類できない
呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: 分類できない
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 分類できない

生殖毒性 : 分類できない
 特定標的臓器・全身毒性 (単回曝露) : 分類できない
 特定標的臓器・全身毒性 (反復曝露) : 分類できない
 吸引性呼吸器有害性 : 分類できない

(環境に対する有害性)
 水生環境急性有害性 : 分類できない
 水生環境慢性有害性 : 分類できない

(GHS ラベル要素)
 絵表示又はシンボル : なし

(GHS 分類に該当しない危険有害性)
 : 消防法「指定可燃物」取扱い数量 20 m³以上の場合

(想定される非常事態の概要)
 : 燃焼の際に有毒ガス(一酸化炭素、窒素酸化物等)を発生する場合があります。

③ 【組成及び成分情報】

化学物質・混合物の区別 : 成形品(Article)
 : 混合物製品
 化学分類 : オレフィン系プラスチック発泡体/合成ゴム系接着剤
 化学名又は一般名 : 表の通り

化学名又は一般名	含有量	官報公示整理番号	CASNo.
		(化審法・安衛法)	
エチレン酢酸ビニル共重合物	43 以下	6-6	24937-78-8
有機質系難燃剤	12 以下	(4)-1735 7-(4)-841	84852-53-9
無機質系難燃剤	45 以上	1-543 1-386 1-17	1309-64-4 1309-42-8 21645-51-2
アゾジカルボンアミド	3 未満	2-1747	123-77-3
有機系添加剤	3 未満	非公開	非公開
有機系又は無機系顔料	2 未満		
合成ゴム系接着剤	5 未満		

④ 【応急処置】

吸入した場合 : 通常はロール巻き製品であり、吸入の可能性は極めて低い。もし切粉等を吸引し気分が悪い時は医師の診断を受けること。
 皮膚に付着した場合 : 一時的に付着しても問題ありませんが、必要に応じて触れた個所を水と石鹼を使って十分に洗浄すること。
 目に入った場合 : 通常はロール巻き製品であり、目に入る可能性は極めて低い。もし切粉等が入った場合は直ちに多量の水で

飲み込んだ場合	: 15分以上洗眼し医師の診断を受けること。 : 通常はロール巻き製品であり、飲み込む可能性は極めて低い。もし切粉等を飲み込み、気分が悪い時は医師の診断を受けること。
最も重要な兆候及び症状	: 情報なし
医師に対する特別な注意事項	: 情報なし

⑤ 【火災時の処置】

消火剤	: 粉末消火器、炭酸ガス消火器、泡消火器、霧状の水。
使ってはならない消火剤	: 情報なし。
火災時特有の危険有害性	: 燃焼時に生成する黒煙、一酸化炭素、窒素酸化物等の有害ガス。
特有の消火方法	: 消火活動は風上から行い、安全な距離を保つこと。
消火を行う者の保護	: 消火活動に従事する者は適切な保護具を着用し、煙の吸入を避ける事。

⑥ 【漏出時の措置】

人体に対する注意事項及び保護具及び緊急措置	: 風上から作業し、作業の際には適切な保護具を着用し粉塵等を吸引しないようにする。
環境に対する注意事項	: 漏出物を河川や下水に流してはいけない。
封じ込め及び浄化方法と機材	: 飛散したものを掃き集めて、袋や容器に回収する。
二次災害の防止策	: 付近の着火源を速やかに取り除くこと。

⑦ 【取扱い及び保管上の注意】

取扱い	
技術的な対策	: 火花、炎、高温体との接触を避ける。 : 取扱い時には保護具を着用する。
局所排気装置・全体換気	: 粉砕加工を行う際は、粉塵が発生しますので局所排気全体換気を行う。
注意事項	: みだりに粉塵が発生しないように取扱う。過度な加熱をしない。
安全取扱い注意事項	: この製品を使用する時は飲食や喫煙をしないこと。 : 設備は静電除去対策を実施する。 : 使用前に安全データシートを入手し理解するまで取り扱わないこと。

⑧ 【曝露防止及び保護措置】

設備対策	: 加工を行う際、粉塵や臭気などが発生する可能性がある必要に応じて局所排気や全体換気を行う。
管理濃度	: 情報なし
許容濃度	: 情報なし
(保護具)	
呼吸器の保護具	: 全体換気を行い必要に応じて保護マスクを着用する。
手の保護具	: 素手もしくは軍手及び静電防止手袋。
目の保護具	: 通常は必要ないが切粉が発生する場所は、保護メガネ又は安全ゴーグルを使用すること。
皮膚及び体の保護具	: 帯電防止性能を有する長袖の作業衣、帽子、安全靴等。
適切な衛生対策	: 作業環境を整備し適切な保護具を着用して取り扱う。

⑨ 【物理及び科学的性質】

形状	: シート状固定
色	: 自然色又は標準色
pH	: データなし
融点・凝固点	: データなし
沸点・初留点及び沸騰範囲	: データなし
引火点温度	: データなし
燃焼又は爆発範囲 の上限・下限	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: データなし
比重(相対密度)	: オレフィン系プラスチック発泡体 35～60kg/m ³ 。
溶解度	: 水に対する溶解度は無視できる。
n-オクタノール/ 水分配係数	: データなし
水分係数	: データなし
自然発火点温度	: データなし
分解温度	: データなし

⑩ 【安全性及び反応性】

安定性	: 通常の保管、取扱いに於いて安全と考えられる。
反応性	: データなし
避けるべき条件	: 火花、炎、高温体との接触。
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: 一酸化炭素 窒素酸化物。

⑪ 【有害性情報】

製品の有害性情報	: 知見なし
----------	--------

⑫ 【環境影響情報】

生態毒性	: 知見なし
残留性・分解性	: 知見なし
生態蓄積性	: 知見なし
土壌中の移動性	: 知見なし

⑬ 【廃棄上の注意】

廃棄の方法	
焼却する場合	: 関連法規・法令を遵守すること。
廃棄する場合	: 都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集業者や 処分業者と契約し廃棄物処理法及び関連法規・法 令を遵守し適正に処理する。 尚、本製品はEU REACH規制の高懸念物質の認可 候補に指定された物質を含有している可能性があるた め、EU に於いては、EU 各国の法律に則して処分する こと。

⑭ 【輸送上の注意】

輸送上の国内規制	
陸上輸送	: 消防法、道交法等の定めに従う。
海上輸送	: 船舶安全法の定めに従う。

航空輸送 : 航空法の定めに従う。

輸送の特定の安全
対策及び条件 : 荷崩れ・落下・転倒防止策を講じるとともに、直射日光や雨を遮断する措置を講じる。
積載や積み下ろし時は、付近に火気がないことを確認してから行う。喫煙は厳禁。粗暴な取扱いはしない。

⑮ 【適用法令】

消防法 : 消防法第9条の4「指定可燃物」。

EU REACH 規則
高懸念物質 (SVHC) : SVHC の候補物質に指定された「発泡剤」を0.1%以上含有している可能性があるため、EU に輸出する際にはEU 各国の法令に従う。

⑯ 【その他の情報】

引用文献 : ○JIS Z 7252 2014
: ○GHS ～毒物・劇物について
厚生労働省医薬食品局 審査管理課化学物質
安全対策室
: ○政府向け GHS 分類ガイダンス(平成25年度改訂版)

責任の限定について : 本情報は、新しい知見や試験などにより改定されることがあります。本シートは一般的な工業用途について「製品の適切な取扱い」を確保するための情報提供であり、安全を保証するものではありません。現時点で信頼し得ると考えられる資料や測定に基づき作成したものです。ご使用者様に於かれましては、自らの責任に於いて個々の取扱いの実態に応じた、適切な措置をお取り下さるようお願い申し上げます。